

# 青空の下で百周年祝う

## 記念碑に「力いっぱい」の文字

### 記念誌には、思い出がいっぱい

秋晴れの十月二十二日東陽小学校で創立百周年記念式典が行われ、記念碑の除幕、式典など、記念事業が盛大に行われました。

当日は、来賓、招待者、実行委員ら大勢の方がたが出席し鼓笛隊行進に始まり、記念碑の除幕が行われ、力いっばいと刻まれた碑が列席者の前に姿を現わしました。タイムカプセルの埋設もあり、中にはランドセル、まつかぜ、広報紙などが納められ、五十年後の百五十年に掘り出されます。除幕と同時に、一・二・三年生・中学一年生により風船が、青い空に放されどこまでも吸い込まれていきました。児童は、校長先生から「りっぴな人になりましょう。」、実行委員長から

「この気持ちを忘れず勉強、運動に頑張ってください。」とのあいさつがあり、記念品を受け取りうれしそうでした。

体育館では、厳粛に式典が進められ、あいさつを聞きながら、まぶたをとじ、当時を思いだしている様子があちこちで見られました。出席者の中には、喜寿のお祝いを兼ね二十人が参加、終了後は同窓会を行い思い出話に花を咲かせました。皆さん、母校の思い出に話をはずませたことと思います。

また、記念誌も学校の沿革、百周年記念式典の模様、卒業写真、名簿、それぞれの時代の思い出を文章にしたものなど、百年の歩みを綴ったもので、十二月上旬頃に発行になります。

東陽小学校  
創立百周年  
記念式典

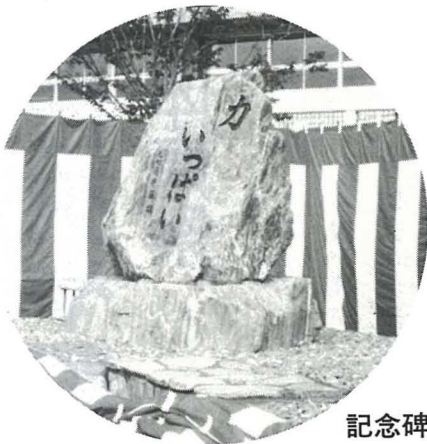
### 感想

●大勢の中で鼓笛をやって、緊張しましたが、いい思い出になりました。六年一組 椎名春枝

●東陽小学校にこんな歴史があったなんて、思ってもいませんでした。東陽小学校は、りっぴだと思いました。六年二組 越川隼一



▲生徒代表による玉串奉奠



記念碑



▲式典会場

## 沿 革

明治22年 東陽村が発足  
 明治22年 宮川尋常小学校と篠原尋常小学校が合併して東陽尋常小学校となる（7月26日開校記念日）  
 明治25年 高等科を併設し、東陽尋常高等小学校と改称し、校舎を新築  
 大正14年 東陽小学校図書館併置  
 大正15年 東陽青年訓練所設置  
 昭和16年 東陽国民学校と改称  
 昭和21年 東陽尋常高等小学校と改称

昭和22年 高等科が独立して新制中学校となり、村立東陽小学校と改称  
 昭和29年 四村合併して光町が誕生、町立東陽小学校となる  
 昭和38年 旧東陽中学校校舎へ移転、給食開始  
 昭和40年 体育館落成  
 昭和42年 プール完成  
 昭和44年 開校80周年記念式典を行う  
 昭和55年 新校舎落成  
 平成元年 開校100周年記念式典を行う

明るいいいさつ笑顔がかえる